PRESS RELEASE

2022 年 1 月 13 日(木)
スターキャット･ケーブルネットワーク株式会社

報道関係者各位

「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に スターキャットが参加 ～通信事業や自社メディアを通じて SDGs の普及活動を推進～

スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：松下寿昭、以下「スターキャット」）は、「SDGs（持続可能な開発のための目標）」の取り組みを推進するため、内閣府が設置した「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に参加いたしました。

スターキャットでは、自社チャンネル「キャット チャンネル」において SDGs 関連の番組を制作したり、SDGs について知り・学ぶきっかけを提供するための映画祭を主催したりするなど、社内のみならず、社外にも広く SDGs への理解を深めてもらうための活動に力を入れています。

今回の参加にあわせ、スターキャットでは、他会員との連携を図りながら、SDGs への取り組みをより一層促進してまいります。

地方創生 SDGs 官民連携 プラットフォーム

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームは、SDGs の国内実施を推進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として、内閣府が設置したものです。地方自治体・関係省庁・民間企業など、6,183 団体（2021 年 12 月末時点）の会員で構成されています。

本プラットフォームでは、会員が主催するイベント情報の普及促進、解決したい課題を持つ会員と解決策やノウハウを持つ会員とのマッチング、会員の提案に基づいた分科会の設置といった、さまざまなサポートが行われています。　　※参考：https://future-city.go.jp/platform/

スターキャットの取り組み

◆概要（予定を含む）

・自社チャンネルで SDGs 関連の番組を制作します。

・SDGs について知り・学ぶきっかけを提供するための映画祭を 2021 年 11 月に主催しました（https://nishiki2-sdgsff.com/）。

・食品ロスを減らすために、弊社運営の映画館のカフェにおいて、消費期限の長い食材を使用します。

・事業による電気使用量・ガソリン消費量を計算し、使用量の削減や太陽光発電の実施による CO2 排出量の削減を目指します。

・社内設置の自動販売機においてペットボトル飲料の商品数を減らすとともに、ごみを減らし環境への影響を考慮します。

◆他会員との連携

・ケーブルテレビの番組制作と自主チャンネルでの放送、映画館を利用したイベントを開催することで、地域の SDGs への取組みと連動したり、他会員の活動を紹介したりすることができます。

◆他の会員と連携して取り組みたい課題

・地域密着企業として、名古屋・東海エリアの観光事業を盛り上げたり、フードロスの削減に取り組んだりするなど、SDGs を通じて地域への貢献を深めたい。

◆SDGs17 ゴールのうちスターキャットが注力する分野

・目標 1　［貧困］

あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。

・目標 2　［飢餓］

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

・目標 6　［水・衛生］

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

・目標 7　［エネルギー］

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。

・目標 8　［経済成長と雇用］

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。

・目標 11　［持続可能な都市］

包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

・目標 12　［持続可能な消費と生産］

持続可能な消費生産形態を確保する。

・目標 13　［気候変動］

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

・目標 14　［海洋資源］

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。

・目標 15　［陸上資源］

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

1990 年 10 月から名古屋市中区にて放送サービスを開始し、その後、通信サービス、映画興行も展開してきました。特に通信サービスでは、光ファイバーによる超高速インターネット(FTTH・FTTB)をはじめ、光同軸ハイブリットネットワークを利用したものなど、多彩なサービスを展開しています。「RBB SPEED AWARD 2020」においては、Wi-Fi 速度の部(スマートフォンによる Wi-Fi 接続)CATV 部門(全国・東海)で最優秀賞を受賞しました。

また映画興行では、名古屋市で 2 館（伏見ミリオン座・センチュリーシネマ）の映画館を運営すると共に、配給・宣伝および屋外上映等幅広く映画事業を展開しています。

【会社概要】

■社名:スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社　■URL:https://www.starcat.co.jp/

■本社所在地:愛知県名古屋市中川区高畑 4-133　■代表取締役社長:松下 寿昭

■資本金:26 億 8,500 万円

■サービス提供エリア:名古屋市(守山区・緑区をのぞく)、北名古屋市、岩倉市、江南市、清須市の一部(西枇杷島町・春日)、豊山町

■主な業務内容:通信事業／放送事業／映画事業

■事業内容:

1990 年 10 月から名古屋市中区にて放送サービスを開始し、その後、通信サービス、映画興行も展開してまいりました。特に通信サービスでは、光ファイバーによる超高速インターネット(FTTH・FTTB)をはじめ、光同軸ハイブリットネットワークを利用したものなど、多彩なサービスを展開しています。「RBB SPEED AWARD 2020」においては、Wi-Fi 速度の部(スマートフォンによる Wi-Fi 接続)CATV 部門(全国・東海)で最優秀賞を受賞しました。